

北九州市保健所発！メールマガジン「みんなで結核予防」

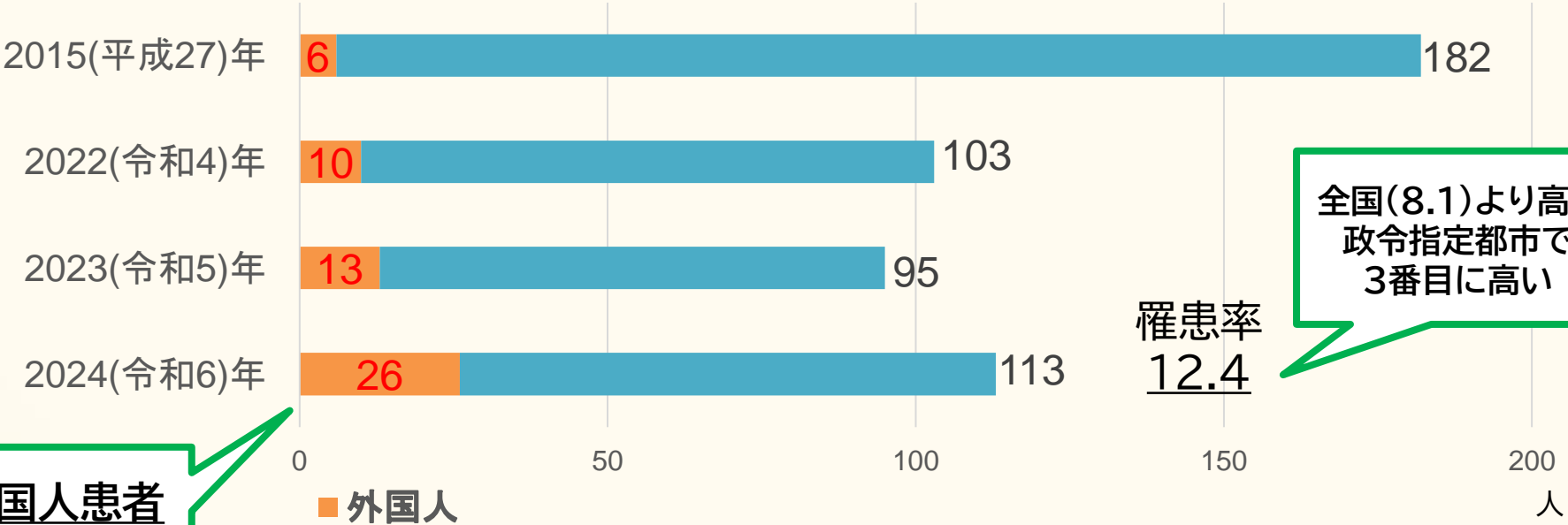
第1回：なぜ今、結核対策が 重要なのか

～外国人材が安心して活躍できる環境づくりのために～

実は「過去の病気」じゃないんです！

北九州市が直面している「結核」の現状

北九州市の新規結核患者数



※罹患率＝結核患者数を人口10万人当たりで表した指標

増加傾向にある外国人結核患者

特に「若い世代」が多い

2024(令和6)年の患者26人中

22人が20代

アジア圏からの入国が中心

結核が今なお蔓延しているアジア諸国からの外国人材受入れが増えています。

留学生や技能実習生など、社会活動の中心を担う若い世代が最もリスクにさらされている状況なのです。

他人事じゃない！「市内の現実」



集団感染

近年、市内の学校や施設でも**集団感染**が起きています。



密閉・密集・密接

寮生活や長時間の共同作業が感染を広げます。



気づかない恐怖

ただの風邪だと思っていたら
実は結核だった...
というケースが多いのです。

結核発生がもたらす企業運営への課題



人手不足の加速：罹患した従業員の方などは、入院等が必要となる場合があるため、一時的に通勤できない状況になることがあります。外国人材を含め貴重な戦力が長期離脱することで、業務ラインの停止や納期の遅延を招くなど、大きな影響が出る可能性があります。





感染拡大防止のための迅速な健診協力：集団感染が疑われる場合、皆さまの健康と安全を確保するため、感染の可能性のある方々への健診が不可欠となります。保健所が迅速かつ円滑な健診実施をサポートしますので、ご理解とご協力をお願いします。




多額の社会的コスト：治療費の補助（公費）があるとはいえ、労働力の喪失や対応に係る人件費は、企業にとって大きな損失となります。

だから今、結核対策が**重要**なのです

 **組織と人の健康・安全を守る**：結核は過去の病気ではありません。早期の対策は、従業員の皆さまの健康を守り、集団感染の拡大を防ぎます。

 **企業の持続的な成長を支える**：結核発生は、休業、人手不足、社会的コストなど、企業活動に深刻なダメージを与えかねません。適切な対策は、これらのリスクを未然に防ぎ、事業継続と安定した運営を可能にします。

 **地域社会と国際的な信頼を築く**：外国人材が安心して活躍できる環境は、地域経済の活性化につながり、企業、ひいては北九州市の国際的な評価を高めます。結核予防は、異文化間の理解と共存を深めるための重要な取り組みです。

“ 結核対策は単なる健康管理ではなく、
「リスクマネジメント」そのものです！

排除するのではなく、早期に発見して共に支える。

「みんなで結核予防」をしていきましょう。

ご相談はこちらへ

まずは「正しく知る」ことから始まります。

北九州市保健所 保健予防課

窓口、電話、メールにてご相談を承ります。

受付：8時30分～17時00分（土日祝、年末年始を除く）

所在地：北九州市小倉北区馬借一丁目7番1号

総合保健福祉センター（アシスト）4階

電話：093-522-8764

Email：ho-yobou@city.kitakyushu.lg.jp